

カトリック 三田小教区報

2022年 10月号(No. 240)
三田市屋敷町8-15 TEL 079-562-4404 FAX 079-562-9404
発行責任 神田 裕神父 編集: 宣教委員会広報部

台湾の「希望の灯り」建立式典へのメッセージ

9月21日に台湾大地震から23年を迎えた。それに先立ち、阪神淡路大震災以降、神戸で灯され続けている「希望の灯り」が17日に台湾でも灯されることになった。当日、台湾被災地へメッセージを届けた。

台湾(埔里)の皆さま、こんにちは。お元気ですか。神田神父です。「ペーパードーム」のシンボルを通してこれまで互いの絆を深めてきました。この度「希望の灯り」が灯されることで新たな一歩を踏み出します。

私たちは、大自然の驚異を経験して、形あるものは永遠ではないことを知りました。しかしそれだけではなく、人間の仕業によって、自然が搾取され、環境が破壊され、戦争によって自らの命をも蝕んできました。“ともに暮らす家”であるこの地球にとっては、まるで私たち自身が暴れまわるウィルスのようにあります。

世界が、形あるものを奪い合うのではなく、互いを尊重し分かち合うことによって、初めて、人々の真の幸せ、平和を築くことができると、信じています。“強いものは下に、弱いものは上に、子どもはてっぺんに”です。

時代に翻弄されないよう、未来へ向けて「希望の灯り」を灯し、平和への弛まぬ歩みを誓い、心を合わせてともに祈って行きたいと思います。

神田裕

cf: 教皇フランシスコ回勅「ラウダート・シ」“ともに暮らす家を大切に”

cf: “強いものは下に、弱いものは上に、子どもはてっぺんに”

神戸少年の町と同じくフラナガン神父の影響を受けスペインで生まれたシウダー・デ・ロス・ムチャ
チョス(少年の町)。ベンポスタ子ども共和国と呼ばれている。子どもサーカス団を編成し世界で
巡業してきた。そのサーカス興行のテーマがこれ。